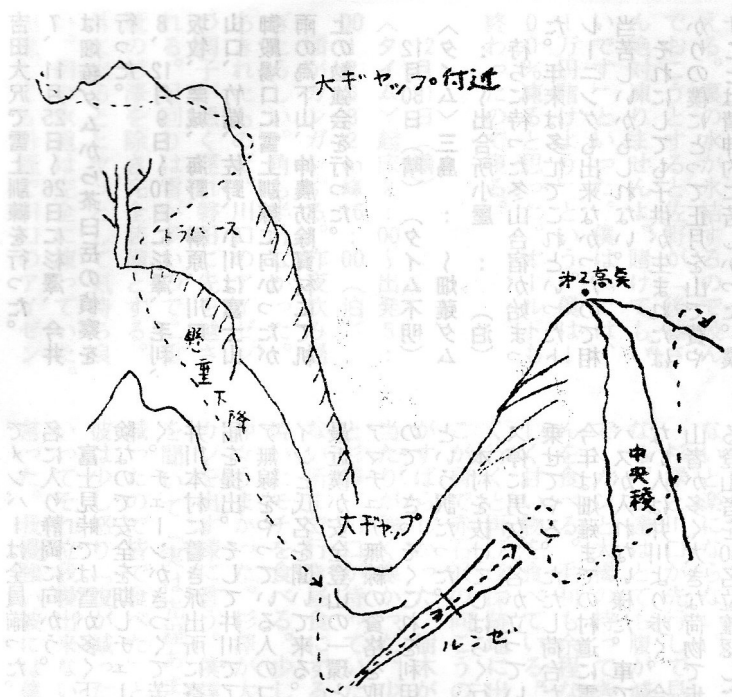


ここから急な所を登り反対側に降り雪壁を横断して風穴に着いた。この辺りが一番悪い所と予想したが、それ程でなく安心した。稜線

ンビリ眺めていたが、突然その中の1人が「ワアッ」という大声を出して墜落した。しかし、すぐ動いたのでたいしたことはないら

人がいた。彼らは一昨日、昨日と時々一緒になった人達だった。昨日は仙水峠の仲間の所まで行くといっていたがやはり無理だったのだらう。1人が出発の時、ザックを上げた瞬間「ギックリ腰」をやってしまった。大変だ。ルンゼをゆく杉澤が頂上に立った時、

ちょうど雲上に太陽が出てきた。そして大橋、毛利、私の順で頂上に立つ。長い道のりだった。そして私には冬山10シーズン目の記念すべき頂きだった。(文中敬称略)
(73年11月30日発行機関誌「くろゆり」第5号に収録)
解説
鋸岳から甲斐駒の縦走は会とし



(ルート図は当時のものを使用しました)

30 1 甲斐駒ヶ岳 6 : 55 ~ 7 : 15
5 合目 10 : 15 1 笹ノ平 12 : 15 1 白須バス停 15 : 00 ~ 三島

やがて道は細くなり悪いところは戸台側を巻くようになる。頂上直下のコルに昨夜ビバークした3

て大きな課題であった。なぜならばこれらの岩と雪のルートの経験が将来北アの冬山の基礎となるからである。しかし、実際は想像し

ていた程でなかったことは、前年来、会の実力が着実に向上してきた証しといえた。

第6期冬山合宿 3011m
聖岳東尾根
後藤 隆徳

●聖岳東尾根(聖岳)上河内岳(茶臼岳)
▽78年12月30日~79年1月3日
▽A. パーティ 11 12月30日出合所
小屋泊、12月31日 2 6 3 2 m 泊
1月1日聖岳をへて聖平小屋にてB隊と合流。
CL 後藤隆徳(31) SL 杉澤康秀
(29) 総務毛利哲也(45) 装備佐野喜之() 医療大橋 孝(21) 気象川口智也()
▽B. パーティ 11 12月31日出合所小屋泊、1月1日聖沢をへて聖平にてA隊と合流。
SL 山口 清(34) 竹端節次
(40) 小川広太郎() 坂牧洋子
() 栗城昭子()
▽C. パーティ 11 1月1日横澤小屋泊、1月2日茶臼岳でA・B隊に合流。

【とりくみ】

- 1、78年6月16日~18日に後藤、佐野、川口の3名は出合所小屋から東尾根をへて聖岳に登り、聖沢を下降して偵察を行った。
- 2、10月1日に後藤、川口は荷上げ品の買出しを行った。
- 3、10月7日~9日に杉澤、今井大橋の3名は出合所小屋、2632m峰に荷上げた。
- 4、10月7日~9日に後藤、山口、佐野、榊原は出合所小屋、聖平小屋、茶臼小屋に荷上げた。
- 5、11月18日~19日に杉澤、今井、小川、栗城は富士山吉田大沢で雪上訓練を行った。
- 6、11月22日~23日に後藤、毛利、川口、榊原、海野、山口は富士山